

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 22.4.20 第 174 回国会第 15 号

4 月 20 日（火）第 15 回の委員会が開かれました。

1 金融に関する件（通貨及び金融の調節に関する報告書）

- ・通貨及び金融の調節に関する報告書について、白川日本銀行総裁から説明を聴取しました。
- ・菅財務大臣及び参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）日本銀行総裁	白川方明君
日本銀行副総裁	西村清彦君
日本銀行審議委員	宮尾龍蔵君
日本銀行理事	山本謙三君

（質疑者及び主な質疑内容）

小野塚 勝 俊君（民主）

- ・我が国の長期金利が長期間低水準で推移しているのはなぜか。また、今後も安定的な長期金利を維持するための方策にはどのようなものがあるか。
- ・中小企業金融円滑化法の施行など金融行政の変化があったが、それを踏まえた日銀考査の手法の変更は行われたのか。
- ・我が国の持続的成長のためにどのようなことが必要だと日銀総裁は考えるか。

今 井 雅 人君（民主）

- ・日銀は中長期的な物価安定を政策目標としているが、足元のデフレの速やかな克服に向けた日銀総裁の決意を伺いたい。
- ・日銀は物価の基調判断にエネルギー価格の変動を含む消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）を採用しているが、エネルギー価格の影響を除いた指標を用いるべきではないか。

山 本 幸 三君（自民）

- ・日本経済が長期にわたり低迷しているのは需要不足が

原因であり、その責任は日本銀行の金融政策にあると考えるが、宮尾審議委員の認識はいかがか。

- ・財務大臣が消費者物価指数上昇率についての期待・見込みを示したが、これに対する日銀総裁の認識はいかがか。
- ・最近のマネタリーベースの動向からすれば日本銀行は金融引締めを行っている判断できるが、財務大臣の認識はいかがか。

石 井 啓 一君（公明）

- ・物価の認識についてコアコアCPIを重視するべきではないか。
- ・予想物価上昇率に関する「人々の物価に対する見方」を示す指標について伺いたい。
- ・デフレ脱却に向けたメッセージ力を高める政策が必要なのではないか。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・景気に対する現状認識及び金融危機からの脱却状況について伺いたい。
- ・金融危機を引き起こした要因について伺いたい。
- ・銀証分離規制及びヘッジファンド規制に対する日銀総裁の見解を伺いたい。